



高山別院通信

— 宗祖御遠忌・本堂御修復に向けて —



2014年3月26日
第2号<発行>
真宗大谷派高山別院

高山教区・高山別院 宗祖御遠忌記念事業

「高山別院本堂等御修復工事」

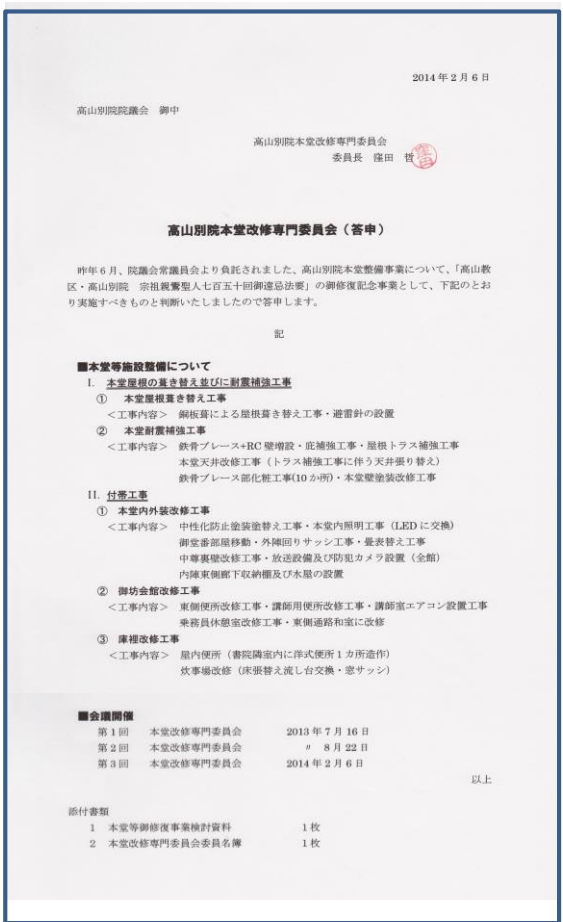
院議会で概要を了承

【「銅板葺による本堂屋根葺き替え工事」及び「耐震補強工事」
「その他付帯工事」・「内陣荘厳修復工事」を実施】

去る2月27日、院議会懇談会において、「高山別院本堂改修専門委員会」答申が提出され、慎重な審議を経て、「高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌」記念事業として実施される「高山別院本堂等整備事業」について、工事の概要が了承されました。

今後、「御遠忌推進委員会」において、御遠忌法要及び教化等の事業計画がとりまとめられ、御遠忌法要及び御修復にかかる事業費を予算化し、募財方法をとりまとめたいうえで、御遠忌推進委員会、教区会並びに教区門徒会、院議会の議決を経て、最終的な決定がなされます。

なお、これらを踏まえ、各組に御遠忌・御修復の説明をまいります。



「高山別院本堂改修専門委員会」答申



「高山別院院議会懇談会」2月27日

【院議会で了承された記念事業（御修復工事）の概要】

一 「本堂屋根の葺き替え」並びに「耐震補強工事」

① 本堂屋根葺き替え工事

銅板葺による屋根葺き替え（木工事を含む）・避雷針の設置

② 本堂耐震補強工事

鉄骨ブレース+RC壁増設・庇補強・屋根トラス補強
本堂天井改修（トラス補強工事に伴う天井張り替え）
鉄骨ブレース部化粧（10カ所）・本堂壁塗装改修

二 「付帯工事」

① 本堂内外装改修工事

中性化防止塗装塗替え・本堂内照明交換（LEDに交換）
御堂番部屋移動・外陣回りサッシ設置・畳表替え
中尊裏壁改修・放送設備及び防犯カメラ設置（全館）
内陣東側廊下収納棚及び水屋の設置

② 御坊会館改修工事

東側便所改修・講師用便所改修・講師室エアコン設置
乗務員休憩室改修・東側通路和室に改修

③ 庫裡改修工事

屋内便所設置（書院隣室内に洋式便所1カ所造作）
炊事場改修（床張替え・流し台交換・窓サッシ）

《本堂内陣御修復工事》答申とともに実施すべきことを確認

《修復》瓔珞・金灯籠・鶴亀菊灯の歪み補正・金紙張替え
漆塗・折障子張替え及び補修他 《購入》上人卓・木蟬 他

【院議会で了承に至るまでの経緯】

■ 「高山別院本堂改修専門委員会」の設置（2013年6月20日）

高山別院本堂の整備事業については、一昨年、本堂の耐震診断調査が行われ、その結果について、「社団法人 岐阜県建築士事務所協会」から「耐震性能は劣るので、被害を防ぐため相当な補強が必要と思われる」との判定を受けた。この調査結果に基づき耐震補強計画が作成され、御遠忌推進委員会記念事業部会、院議会、そして各組巡回などで新築案も含めて検討されてきたが結論には至らず、継続して検討を進めるため、昨年6月、院議会に「高山別院本堂改修専門委員会」が設置された。

■高山別院本堂改修専門委員会

《第1回 2013年7月16日》(屋根葺き替え工事の実施を確認・付帯工事の検討)

別院本堂の整備については、募財規模が相当大きくなることや、施工に至るまでにかなり時間がかかることなどを勘案し、新築ではなく改修で行うことが確認された。なお、屋根の葺き替えについては、銅板葺により行うことも併せて確認された。

耐震補強工事については、様々な意見が出され結論には至らず、さらに議論を深めていくことが確認され、次回に持ち越すこととなった。

また、大掛かりな工事となるため、この機会に併せて、必要な本堂諸設備の整備を行うべく、付帯工事についても検討していくことが確認され、事務局から案を提示することとなった。

《第2回 2013年8月22日》(耐震補強工事の実施を確認・景観維持)

耐震補強工事については、今日の耐震補強に対する一般的な考え方からも、また、後世に安心安全な別院本堂を伝えていくためにも、耐震補強工事を行うべきであるとの意見が出され、提案された内容を基本に実施することが確認された。

なお、本堂正面の鉄骨ブレイス補強箇所などについて、景観を損ねないような設計を施すことや、本堂をより長く保全していくためにも、コンクリートの中酸化防止対策を行うなどの対応を、さらに検討していくことが確認された。

《第3回 2014年2月6日》(答申のとりまとめ・内陣荘厳修復を確認)

これまでの協議内容を踏まえ、「高山別院本堂改修専門委員会」答申が取りまとめられた。工事内容については「銅板葺による本堂屋根葺き替え工事」及び「耐震補強工事」「その他付帯工事」(表面)【院議会です承された記念事業(御修復工事)の概要】のとおりとなった。

また、宗祖御遠忌法要の厳修を控えての工事であり、別院を後世に伝えていくということから、この機会に、可能な限りの内陣荘厳整備を行うことも、あわせて確認された。

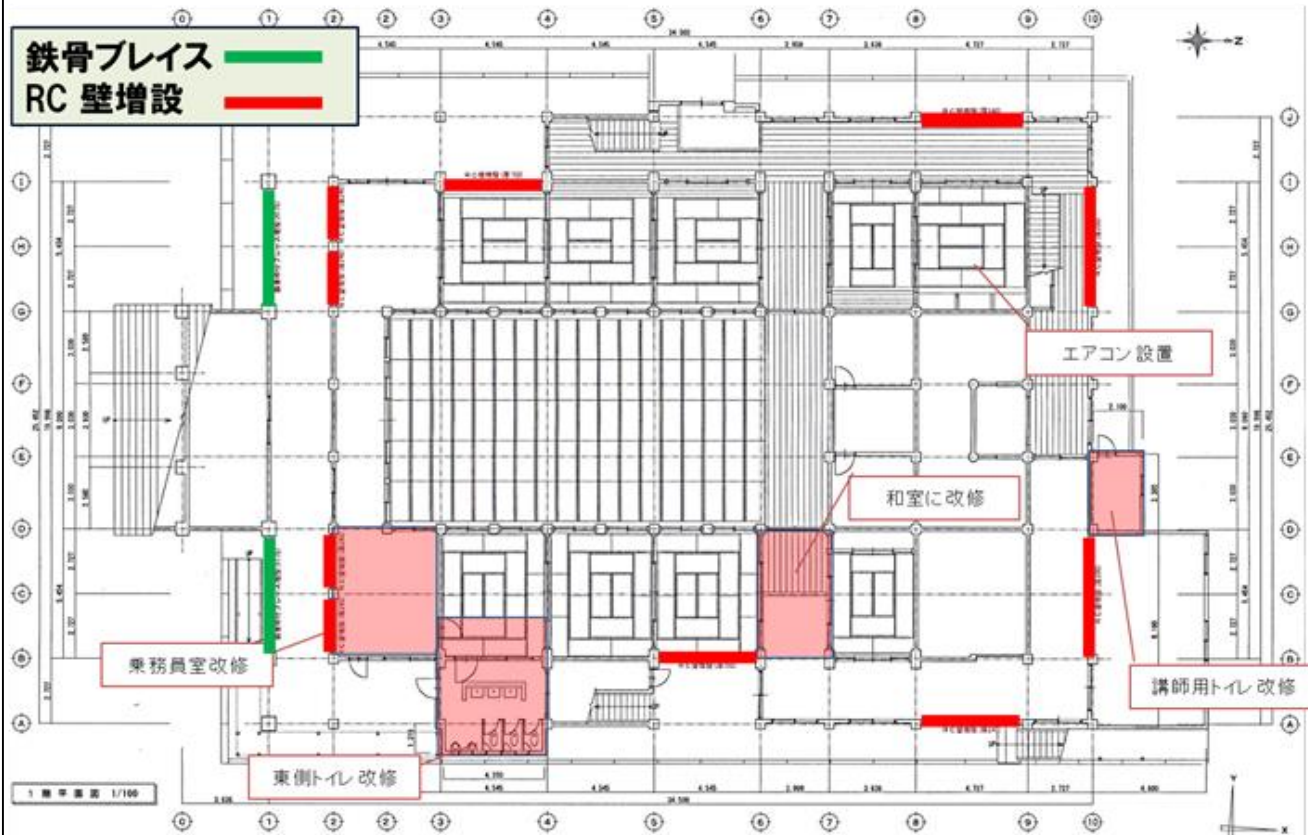
なお、答申内容とともに、建物の修復工事及び内陣荘厳修復工事の概算総額として四億二千四百五十八万五千円が提示されている。

■院議会懇談会「本堂改修専門委員会」答申を了承(2014年2月27日)

2月27日、高山別院院議会懇談会が開催され、「高山別院本堂改修専門委員会」答申及び工事概算額が提出された。答申内容について慎重な審議が行われ、了承された。

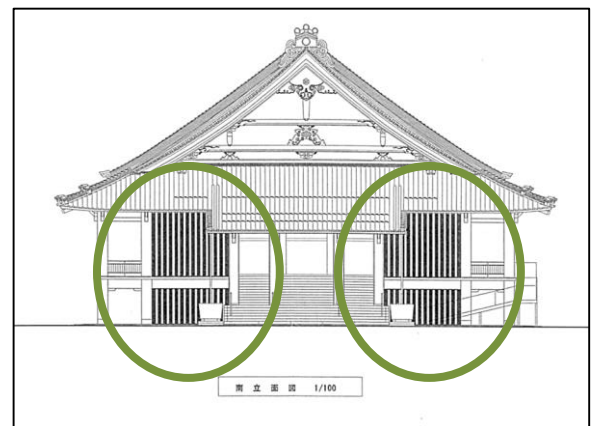
また、答申とともに提案された本堂荘厳修復工事についても、併せて実施すべきであることが確認された。

本堂1階(御坊会館)平面図



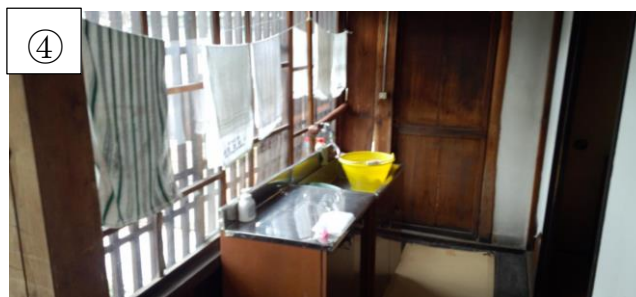
本堂南立面図

(鉄骨ブレイス部化粧メージ)



外側耐震補強鉄骨ブレイス部分に化粧材を施したイメージ。正面4カ所、東西面各1カ所、本堂内に別形式で4カ所、合計10カ所を計画。

御修復工事の概要について補足説明



①② 御坊会館(別院本堂1階)東側トイレ。老朽化のうえ、男女共用となっている。特に女性用トイレは数も足りていない。③ 御坊会館(別院本堂1階)北側講師用トイレ。老朽化のうえ、一旦、外に出なければいけない構造となっている。④ 庫裡御殿炊事場。著しく老朽化。⑤ 庫裡御殿トイレ。一度外に出て、しかも急な階段を下りて入らなければいけないため、年配者にはかなり不都合な状況。報恩講時に鍵役が使用。